

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	36° 45' 12"	橋梁ID
				経度	138° 21' 02"	
4033 七瀬下りランプ橋 (フリガナ) ナナセクダリランプキョウ		029 中野豊野線	長野県中野市大字七瀬 地先			
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長野県 13 中野	2020.09.17	中野市道 七瀬古牧線		一般道		無し

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

国土監理株式会社 花岡 武彦

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰、 床版ひびわれ	2-床版01,2-床版02 写真16,18, 3-床版04,3-床版01 写真19,20,22			
下部構造		Ⅱ	ひびわれ、漏水・遊離石灰	2-橋脚01,2-橋脚02 写真19,21, 3-橋台02 写真23,24,25			
支承部		Ⅱ	支承部の機能障害	3-支承部0302 写真30			
その他		Ⅲ	舗装の異常、 腐食、変形・欠損など	1-舗装01 写真1,2,3,3-高欄02 写真5,6			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	橋面舗装にポットホールやひびわれが複数確認できる。壁高欄は天端の一部が土砂化しており、ランプ橋下にコンクリートの破片が落下するおそれがある。橋面舗装、壁高欄共に早期に対策を講じる必要があると判断してⅢとした。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1994	69.5	6.7
橋梁形式		
鋼桁橋(非合成)、逆T式橋台2基、柱橋脚1柱小判(SRC)2基		

起点



終点

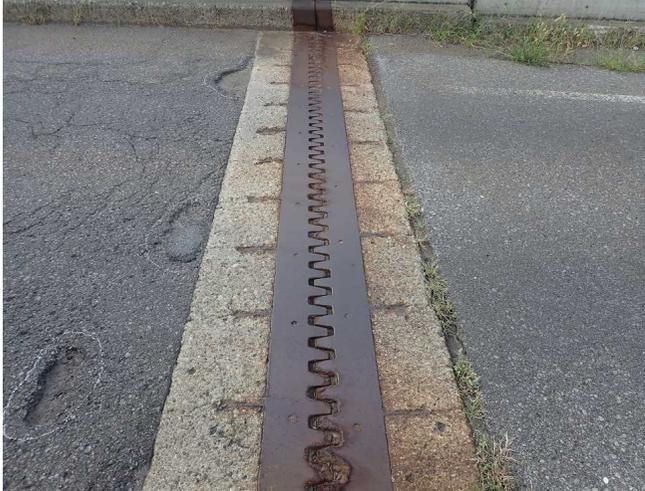
※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	1	舗装	Ⅲ	1-舗装01	舗装の異常	1	2	舗装	Ⅲ	1-舗装01	舗装の異常
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	3	舗装	Ⅲ	1-舗装01	舗装の異常	1	4	伸縮装置	Ⅰ	1-伸縮装置01	遊間の異常
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	5	伸縮装置	I	1-伸縮装置01	路面の凹凸	1	6	高欄・防護柵	I	1-高欄02	腐食、変形・欠損など
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	7	地覆・中央分離帯	I	1-地覆01	変形・欠損など	1	8	排水装置	Ⅱ	1-排水装置0101	土砂詰まり
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	9	主桁	I	1-主桁02	腐食	1	10	主桁	I	1-主桁01	亀裂
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	11	主桁	I	1-主桁03	ゆるみ・脱落	1	12	主桁	I	1-主桁03	破断
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

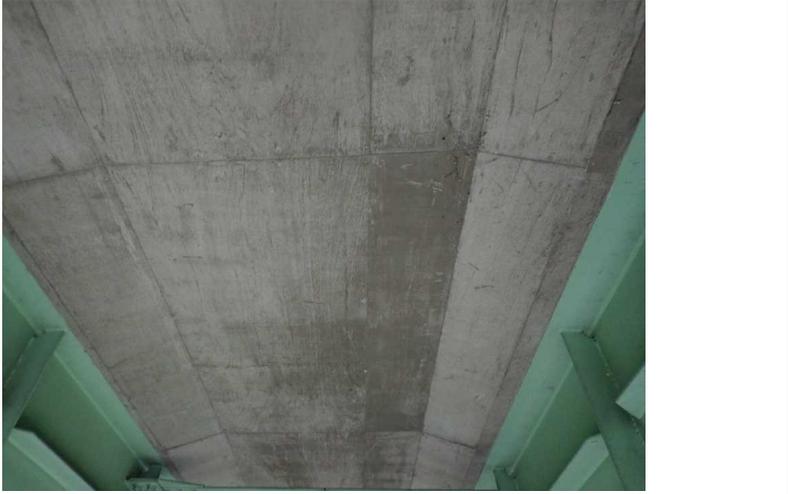
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	13	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	1-端対傾構01	腐食	1	14	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	1-対傾構02	亀裂
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	15	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	1-横構03	ゆるみ・脱落	1	16	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	1-横構02	破断
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	17	床版(張出部含む)	I	1-床版01	剥離・鉄筋露出	1	18	床版(張出部含む)	I	1-床版04	漏水・遊離石灰
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	19	床版(張出部含む)	I	1-床版03	抜け落ち	1	20	床版(張出部含む)	I	1-床版02	床版ひびわれ
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	21	橋台・橋脚	I	1-橋脚02	ひびわれ	1	22	橋台・橋脚	I	1-橋脚02	剥離・鉄筋露出
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	23	橋台・橋脚	I	1-橋台01	漏水・遊離石灰	1	24	基礎	I	1-基礎01	沈下・移動・傾斜
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	25	基礎	I	1-基礎02	洗掘	1	26	支承部	I	1-支承部0301	支承部の機能障害
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	27	支承部	I	1-支承部0201	寄座モルタルの変形・欠損	1	28	支承部	I	1-支承部0101	漏水・滞水
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	29	その他	Ⅱ	1-伸縮装置01	腐食	1	30	その他	Ⅰ	1-主桁01	塗膜劣化
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	31	その他	Ⅰ	1-落橋防止装置0301	腐食	1	32	その他	Ⅱ	1-舗装01(背面舗装)	道路面の凹凸
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	33	その他	Ⅱ	1-舗装01	道路面の凹凸	1	34	その他	Ⅱ	1-舗装01	道路面の凹凸
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	1	舗装	Ⅱ	2-舗装01	舗装の異常	2	2	高欄・防護柵	Ⅰ	2-高欄01	腐食、変形・欠損など
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	3	地覆・中央分離帯	I	2-地覆01	変形・欠損など	2	4	地覆・中央分離帯	I	2-地覆02	変形・欠損など
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	5	排水装置	I	2-排水装置0102	土砂詰まり	2	6	主桁	I	2-主桁01	腐食
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	7	主桁	I	2-主桁03	腐食	2	8	主桁	I	2-主桁02	亀裂
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	9	主桁	I	2-主桁02	ゆるみ・脱落	2	10	主桁	I	2-主桁03	破断
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	11	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	2-横構01	腐食	2	12	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	2-横桁04	亀裂
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	13	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	2-横構01	ゆるみ・脱落	2	14	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	2-対傾構05	破断
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	15	床版(張出部含む)	I	2-床版04	剥離・鉄筋露出	2	16	床版(張出部含む)	Ⅱ	2-床版01	漏水・遊離石灰
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	17	床版(張出部含む)	I	2-床版03	抜け落ち	2	18	床版(張出部含む)	Ⅱ	2-床版02	床版ひびわれ
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	19	橋台・橋脚	Ⅱ	2-橋脚01	ひびわれ	2	20	橋台・橋脚	Ⅰ	2-橋脚02	剥離・鉄筋露出
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	21	橋台・橋脚	Ⅱ	2-橋脚02	漏水・遊離石灰	2	22	基礎	Ⅰ	2-基礎02	沈下・移動・傾斜
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	23	基礎	I	2-基礎01	洗掘	2	24	支承部	I	2-支承部0301	支承部の機能障害
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	25	支承部	I	2-支承部0201	沓座モルタルの変形・欠損	2	26	支承部	I	2-支承部0101	漏水・滞水
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	27	その他	Ⅱ	2-地覆02	遊離石灰	2	28	その他	Ⅰ	2-高欄02	目地損傷
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	1	舗装	Ⅱ	3-舗装01	舗装の異常	3	2	伸縮装置	Ⅰ	3-伸縮装置01	遊間の異常
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	3	伸縮装置	I	3-伸縮装置01	路面の凹凸	3	4	高欄・防護柵	I	3-高欄01	腐食、変形・欠損など
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	5	高欄・防護柵	Ⅲ	3-高欄02	腐食、変形・欠損など	3	6	高欄・防護柵	Ⅲ	3-高欄02	腐食、変形・欠損など
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

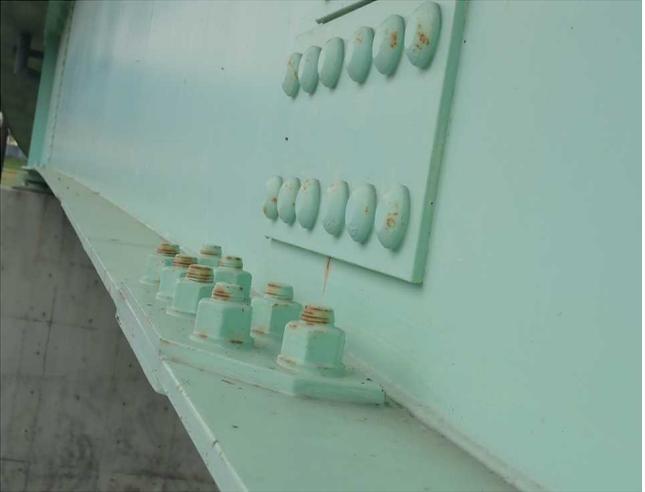
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	7	地覆・中央分離帯	I	3-地覆01	変形・欠損など	3	8	地覆・中央分離帯	I	3-地覆01	変形・欠損など
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	9	排水装置	I	3-排水装置0101	土砂詰まり	3	10	主桁	I	3-主桁02	腐食
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	11	主桁	I	3-主桁01	亀裂	3	12	主桁	I	3-主桁03	ゆるみ・脱落
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	13	主桁	I	3-主桁03	破断	3	14	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-対傾構02	腐食
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	15	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-対傾構01	亀裂	3	16	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-横構01	ゆるみ・脱落
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	17	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-横構01	破断	3	18	床版(張出部含む)	I	3-床版03	剥離・鉄筋露出
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	19	床版(張出部含む)	Ⅱ	3-床版04	漏水・遊離石灰	3	20	床版(張出部含む)	Ⅱ	3-床版01	漏水・遊離石灰
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	21	床版(張出部含む)	Ⅰ	3-床版02	抜け落ち	3	22	床版(張出部含む)	Ⅱ	3-床版04	床版ひびわれ
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	23	橋台・橋脚	Ⅱ	3-橋台02	ひびわれ	3	24	橋台・橋脚	Ⅱ	3-橋台02	ひびわれ
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	25	橋台・橋脚	Ⅱ	3-橋台02	ひびわれ	3	26	橋台・橋脚	Ⅰ	3-橋台02	剥離・鉄筋露出
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	27	橋台・橋脚	I	3-橋脚01	漏水・遊離石灰	3	28	基礎	I	3-基礎02	沈下・移動・傾斜
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	29	基礎	I	3-基礎01	洗掘	3	30	支承部	Ⅱ	3-支承部0302	支承部の機能障害
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

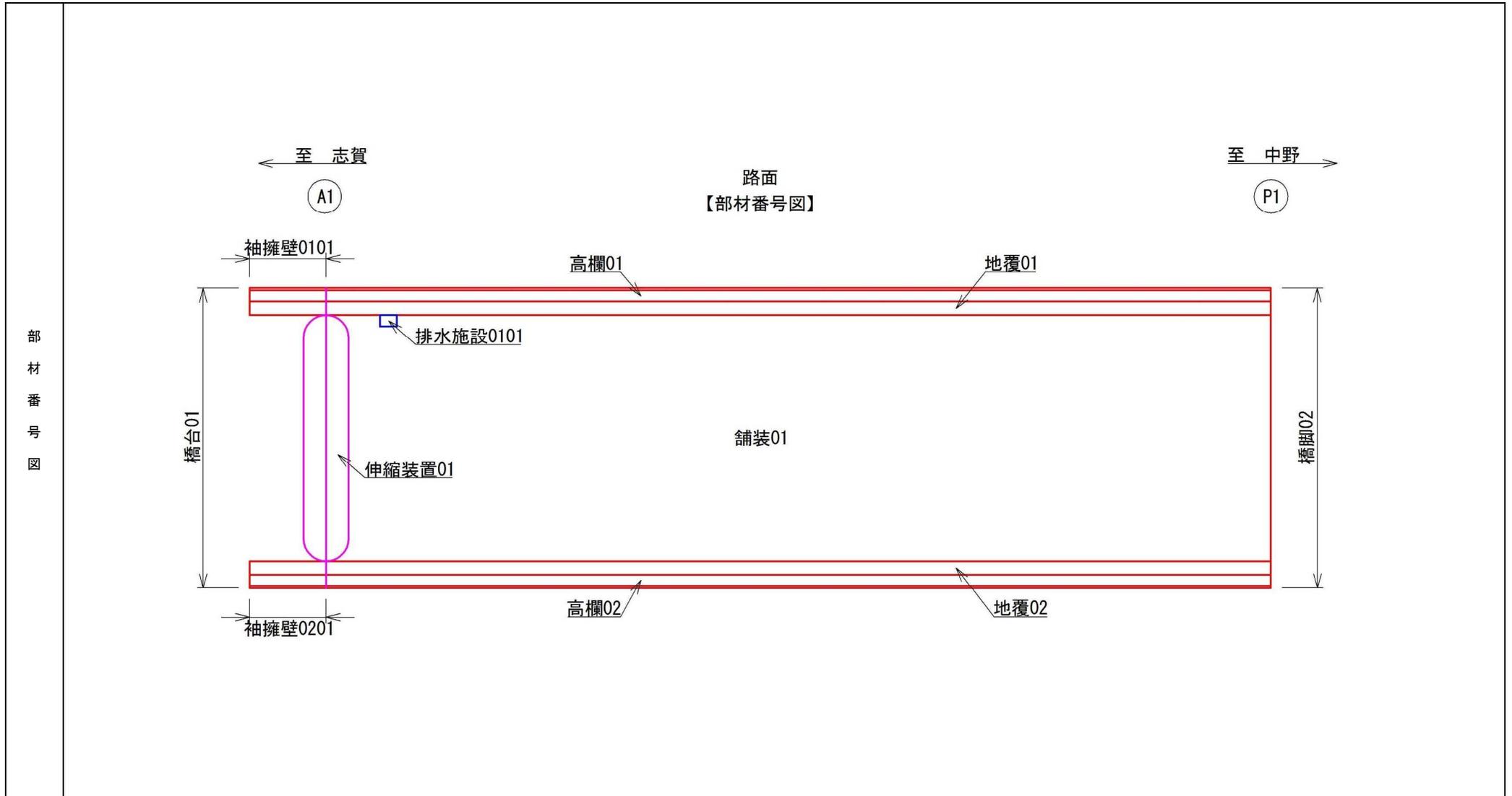
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	31	支承部	I	3-支承部0102	番座モルタルの変形・欠損	3	32	支承部	I	3-支承部0101	漏水・滞水
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	33	その他	I	3-主桁02	塗膜劣化	3	34	その他	I	3-橋台02	漏水跡・表面劣化
											

部材番号図	径間番号	1
-------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				



橋梁点検チェックシート

フリガナ 橋 梁 名	ナナセクダリランブキョウ 4033 七瀬下りランブ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目		変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)				部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考	
			該当部材無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II						判定区分 III
路面・路上	舗装	舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している(ひびわれ幅5mm未満)。	・舗装が著しく損傷している(ひびわれ幅5mm以上)。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	1-舗装01	1,2,3		
	伸縮装置	遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の歯の歯が完全に離れている。または、桁とハラベットあるいは、桁同士が接触している(接触した痕跡がある)。		1-伸縮装置01	4		
		路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・横軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい(20mm未満)。		・横軸方向の凹凸が生じており段差量が大い(20mm以上)。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。	1-伸縮装置01	5		
	高欄・防護柵	腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	1-高欄02	6		
	地覆・中央分離帯	変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	1-地覆01	7		
	排水装置	土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水樹に土砂詰まりがある。			1-排水装置0101	8		
上部工	鋼	主桁※ (ゲルバー部、格点部、コンクリート埋込部含む)	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス構やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	1-主桁02	9	
			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	1-主桁01	10	
			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		1-主桁03	11	
			破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		1-主桁03	12	
	鋼	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		1-端対傾構01	13	
			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		1-対傾構02	14	
			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		1-横構03	15	
			破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		1-横構02	16	

橋梁点検チェックシート	径間番号	1
-------------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランブキョウ 4033 七瀬下リランブ橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度 36° 45' 12" 経度 138° 21' 02"		13 中野	点検年月日	20200917

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目	変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)				部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考		
		該当部材無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II						判定区分 III	判定区分 IV
15	鋼 床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。				
16		亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。				
17		ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・FITボルトによる遅れ破壊の懸念がある。					
18		破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。				
19	上部工 コンクリート	主桁※ (ゲルバー部、PC定着部含む)	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。			
20			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。			
21			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。				
22			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。			
23			横桁※ (PC定着部含む) 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。		
24	剥離・鉄筋露出	部材無し		未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。				
25	漏水・遊離石灰	部材無し		未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。					
26	定着部の異常	部材無し		未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。				
27	床版※ (張出部、PC定着部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	1-床版01	17		
28		漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		1-床版04	18		
29		抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	1-床版03	19		
30		床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	[漏水・遊離石灰が無い場合] ・[方向]一方向[間隔]間わない[幅]0.2mm以下 ・[方向]格子状[間隔]0.5~0.2m、[幅]0.2mm以下 [漏水・遊離石灰がある場合] ・[方向]一方向または格子状[間隔]間わない、[幅]0.2mm以下	[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・[方向]一方向[間隔]間わない[幅]0.2mm以上 ・[方向]格子状[間隔]0.2m以下[幅]0.2mm以上 [漏水・遊離石灰がある場合]部分的な角落ち有 ・[方向]一方向または格子状[間隔]間わない、[幅]0.2mm以上	・ある範囲で一様性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうみや剥離が確認される。	1-床版02	20		
31	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					

健全性の診断	径間番号	1
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				

路面

至 志賀 (A1)

至 中野 (P1)

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (I~IV)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I	I			-		
	横桁	I	I			-		
	床版	I	I			-		
下部構造		I	I			-		
支承部		I	I			-		
その他		III	III	舗装の異常	1-舗装01 写真1,2,3	-		

健全性の診断	径間番号	1
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				

損傷図作成用メモ用紙

桁下

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
	床版	Ⅰ	Ⅰ			—		
下部構造		Ⅰ	Ⅰ			—		
支承部		Ⅰ	Ⅰ			—		
その他		Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	1-舗装01 写真1,2,3	—		

健全性の診断	径間番号	1
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				

損傷図作成用メモ用紙

A1橋台
P1橋脚 (A1側)

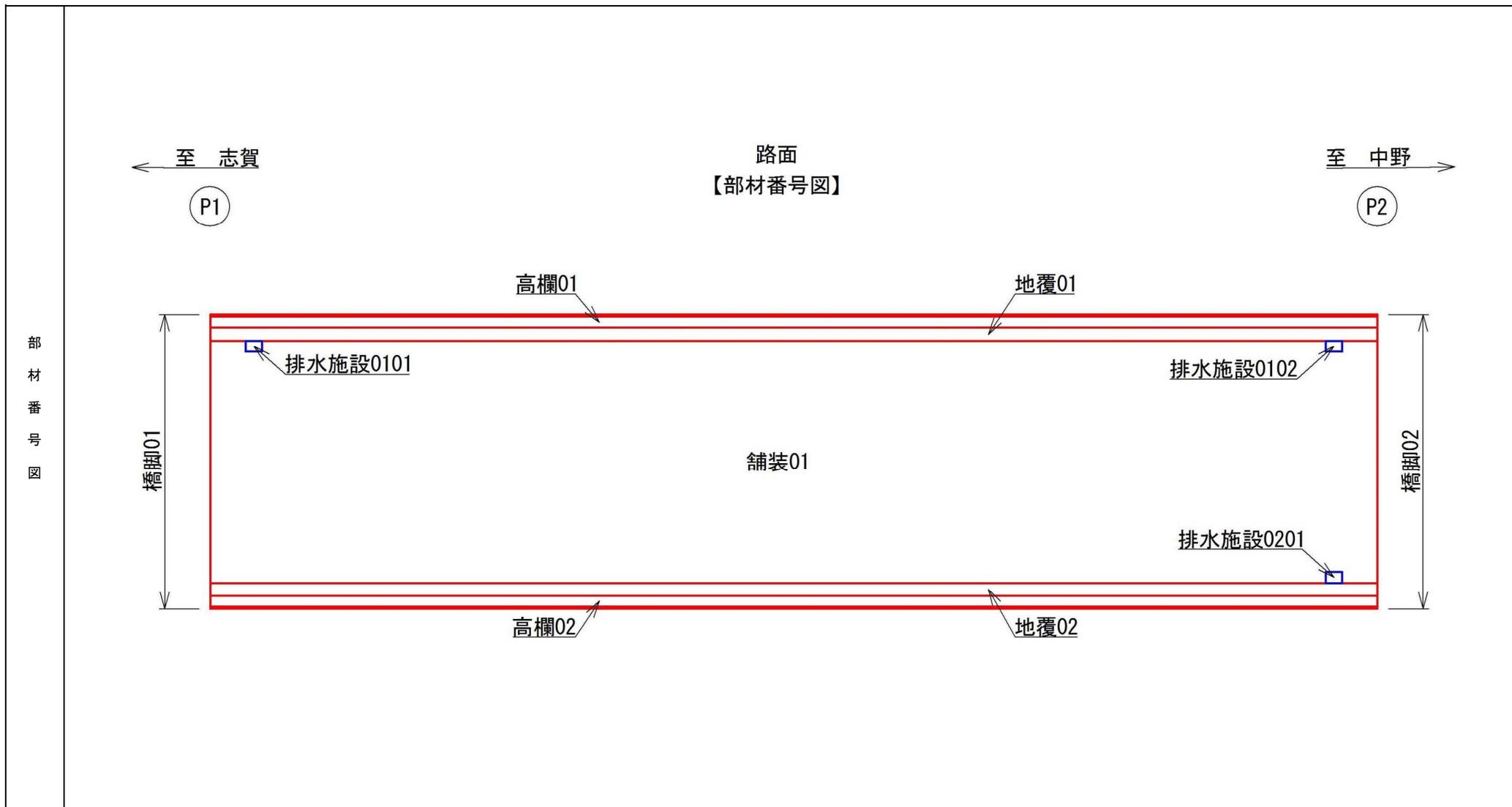
橋台01 ひびわれ I
(W=0.15mm)

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
	上部構造							
	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
	床版	Ⅰ	Ⅰ			—		
	下部構造	Ⅰ	Ⅰ			—		
	支承部	Ⅰ	Ⅰ			—		
	その他	Ⅲ	Ⅲ	舗装の異常	1-舗装01 写真1,2,3	—		

部材番号図	径間番号	2
-------	------	---

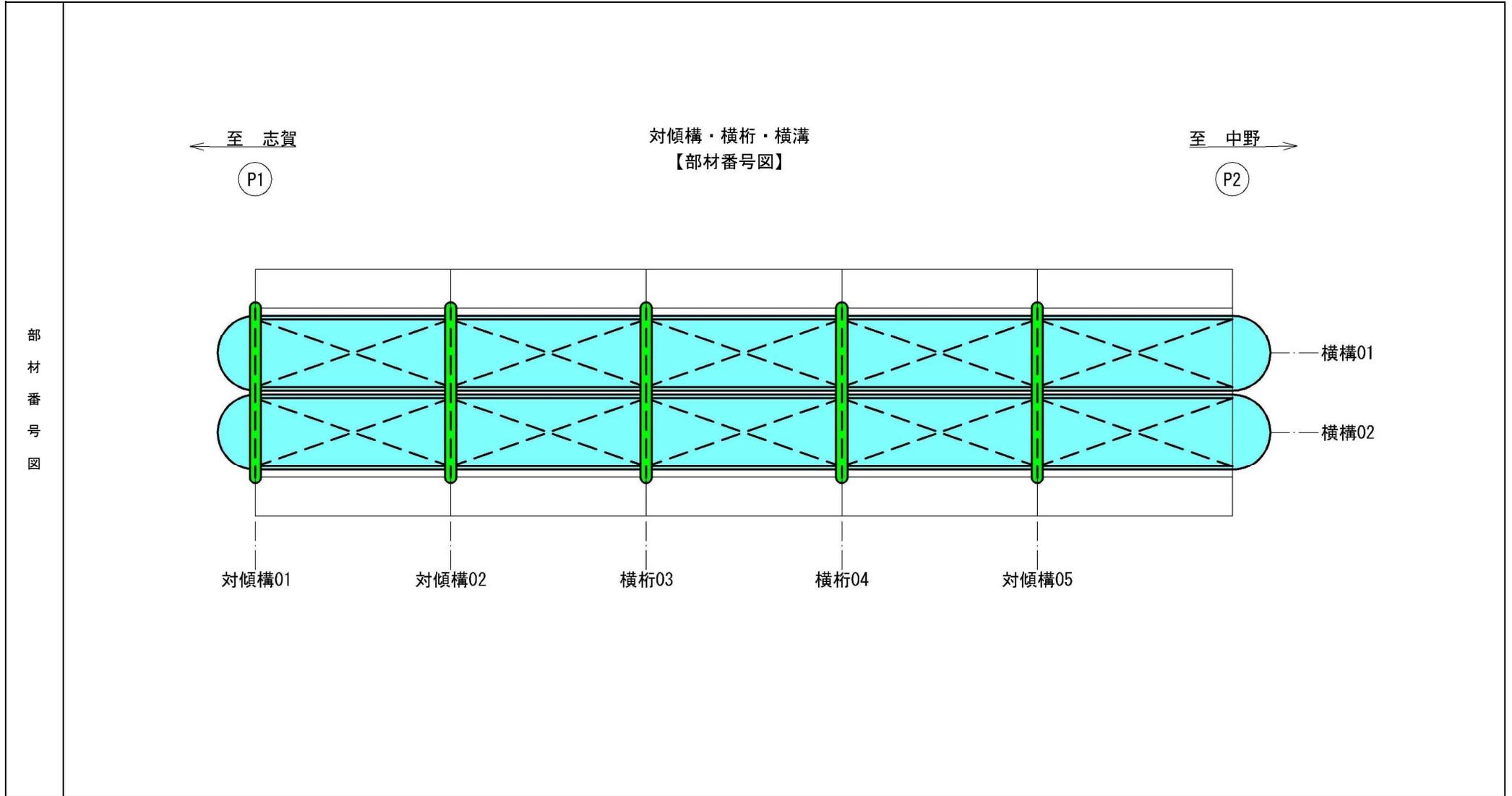
フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度 36° 45' 12" 経度 138° 21' 02"		13 中野	調査更新年月日	20200917



部
材
番
号
図

部材番号図	径間番号	2
-------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				



橋梁点検チェックシート

フリガナ 橋 梁 名	ナナセクダリランブキョウ 4033 七瀬下りランブ橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度 36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度 138° 21' 02"				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目		変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)				部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考		
			該当部材無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II						判定区分 III	判定区分 IV
路面・路上	舗装	舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している(ひびわれ幅5mm未満)。 ・舗装が著しく損傷している(ひびわれ幅5mm以上)。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	2-舗装01	1				
	伸縮装置	遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の歯の歯が完全に離れている。または、桁とハラベットあるいは、桁同士が接触している(接触した痕跡がある)。						
		路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・横軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい(20mm未満)。		・横軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい(20mm以上)。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。					
	高欄・防護柵	腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	2-高欄01	2			
	地覆・中央分離帯	変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	2-地覆01.2- 地覆02	3.4			
	排水装置	土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水樹に土砂詰まりがある。			2-排水装置 0102	5			
上部工	鋼	主桁※ (ゲルバー一部、格点部、コンクリート埋込部含む)	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス構やアーチ構における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	2-主桁01.2- 主桁03	6.7		
			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ構やトラス構の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	2-主桁02	8		
			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		2-主桁02	9		
			破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	2-主桁03	10		
			腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		2-横構01	11		
			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		2-横構04	12		
ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。)	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		2-横構01	13				
破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。		2-対傾構05	14				

橋梁点検チェックシート

フリガナ 橋 梁 名	ナナセクダリランブキョウ 4033 七瀬下リランブ橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0	
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度		36° 45' 12"	13 中野	点検年月日	20200917
			経度		138° 21' 02"			

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目	変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)						部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
		該当部材無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II	判定区分 III	判定区分 IV					
15	鋼 床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。				
16		亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。				
17		ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・FITボルトによる遅れ破壊の懸念がある。					
18		破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。				
19	上部工 コンクリート	主桁※ (ゲルバー部、PC定着部含む)	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。			
20			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。			
21			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。				
22			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。			
23			ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。			
24	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。					
25	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。						
26	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。					
27	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	2-床版04	15			
28	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		2-床版01	16			
29	抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	2-床版03	17			
30	床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	【漏水・遊離石灰が無い場合】 ・(方向)一方向(間隔)間わない(幅)0.2mm以下 ・(方向)格子状(間隔)0.5~0.2m(幅)0.2mm以下	【漏水・遊離石灰が無い場合】部分的な角落ち有 ・(方向)一方向(間隔)間わない(幅)0.2mm以上 ・(方向)格子状(間隔)0.2m以下(幅)0.2mm以上	・ある範囲で一休性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。					
31	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。	2-床版02	18			

橋梁点検チェックシート

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランキョウ 4033 七瀬下リラン橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度 36° 45' 12" 経度 138° 21' 02"		13 中野	点検年月日	20200917

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目	変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)				部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
		該当部材無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II					
32	鋼 橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりがある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		
33		亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているもの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		
34		ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。			
35		下部工	破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		
36	コンクリート 橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	2-橋脚01	19	
37		剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	2-橋脚02	20
38		漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		2-橋脚02	21
39	基礎※	沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし		・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	2-基礎02	22	
40		洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし	・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	2-基礎01	23	
41	支承部※	支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	2-支承部0301	24
42		沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			2-支承部0201	25
43		漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水樹取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			2-支承部0101	26
44	全体	異常な音・振動 異常なたわみ	—	未点検	・損傷なし		・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。			
45	その他 落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明・標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁 など	損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真を記録	[損傷状況]	地覆02 遊離石灰 (判定区分II)				2-地覆02	27	
46			[損傷状況]	高欄02 目地損傷 (判定区分I)				2-高欄02	28	
47			[損傷状況]							
48			[損傷状況]							
49			[損傷状況]							
50			[損傷状況]							
51	[損傷状況]									

健全性の診断	径間番号	2
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				

損傷図作成用メモ用紙

路面

至 志賀 (P1)
(P2) 至 中野

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (I ~ IV)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I	I			—		
	横桁	I	I			—		
	床版	II	II	漏水・遊離石灰, 床版ひびわれ	2-床版01,2-床版02 写真16,18	—		
下部構造		II	II	ひびわれ, 漏水・遊離石灰	2-橋脚01,2-橋脚02 写真19,21	—		
支承部		I	I			—		
その他		II	II	舗装の異常, 遊離石灰	2-舗装01,2-地覆02 写真1,27	—		

健全性の診断	径間番号	2
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				

桁下

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (I ~ IV)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I	I			-		
	横桁	I	I			-		
	床版	II	II	漏水・遊離石灰, 床版ひびわれ	2-床版01, 2-床版02 写真16, 18	-		
下部構造		II	II	ひびわれ, 漏水・遊離石灰	2-橋脚01, 2-橋脚02 写真19, 21	-		
支承部		I	I			-		
その他		II	II	舗装の異常, 遊離石灰	2-舗装01, 2-地覆02 写真1, 27	-		

健全性の診断	径間番号	2
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				

損傷図作成用メモ用紙

P1橋脚 (P2側)
P2橋脚 (P1側)

P1橋脚 (P2側)

側面

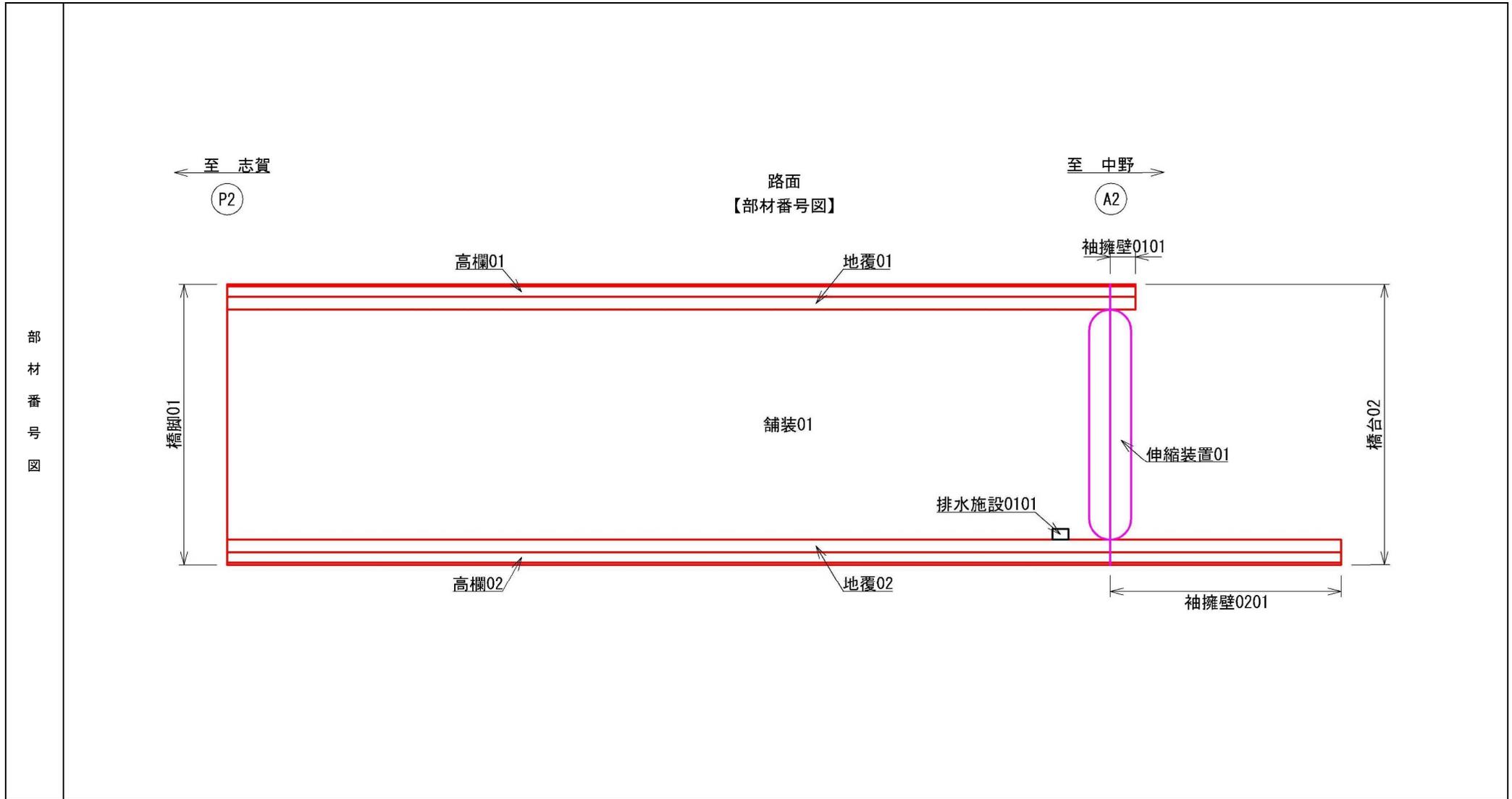
P2橋脚 (P1側)

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (I ~ IV)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I	I			—		
	横桁	I	I			—		
	床版	II	II	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	2-床版01,2-床版02 写真16,18	—		
下部構造		II	II	ひびわれ,漏水・遊離石灰	2-橋脚01,2-橋脚02 写真19,21	—		
支承部		I	I			—		
その他		II	II	舗装の異常,遊離石灰	2-舗装01,2-地覆02 写真1,27	—		

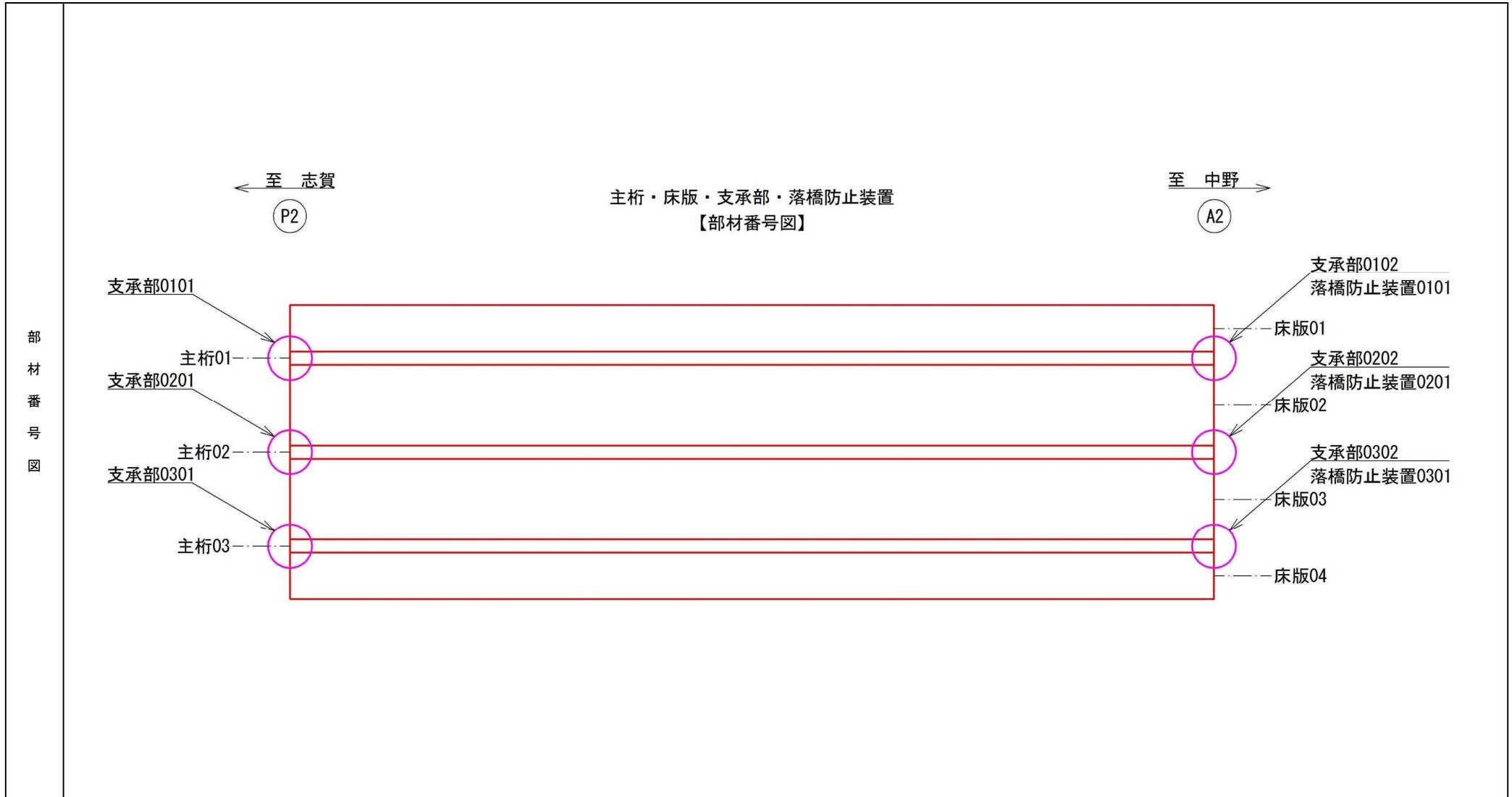
部材番号図	径間番号	3
-------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				



部材番号図	径間番号	3
-------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	調査更新年月日	20200917
			経度	138° 21' 02"				



橋梁点検チェックシート		径間番号	3							
フリガナ 橋梁名	ナナセダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋		路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0	
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先		起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917	
				経度	138° 21' 02"					

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目		変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)				部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考	
			該当部材無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II						判定区分 III
路面・路上	舗装	舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している(ひびわれ幅5mm未満)。	・舗装が著しく損傷している(ひびわれ幅5mm以上)。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	3-舗装01	1		
	伸縮装置	遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の歯の歯が完全に離れている。または、桁とバラベツあるいは、桁同士が接触している(接触した痕跡がある)。		3-伸縮装置01	2		
		路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・横軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい(20mm未満)。		・横軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい(20mm以上)。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。	3-伸縮装置01	3		
	高欄・防護柵	腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	3-高欄01(Ⅰ),3-高欄02(Ⅲ)	4,5,6		
	地覆・中央分離帯	変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	3-地覆01	7,8		
	排水装置	土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水溝に土砂詰まりがある。			3-排水装置0101	9		
上部工	鋼	主桁※ (ゲルバー一部、格点部、コンクリート埋込部含む)	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または垢がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	3-主桁02	10	
			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱、吊材、弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	3-主桁01	11	
			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		3-主桁03	12	
			破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	3-主桁03	13	
	横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または垢がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		3-対傾構02	14		
		亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		3-対傾構01	15		
		ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		3-横構01	16		
		破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	3-横構01	17		

橋梁点検チェックシート	径間番号	3
-------------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセクダリランプキョウ 4033 七瀬下りランプ橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4033_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度 36° 45' 12" 経度 138° 21' 02"		13 中野	点検年月日	20200917

*印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目	変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)				部材番号	写真番号	補修工法	概算数量	備考
		該当部材無し	未点検	判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ					
15	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。			
16	亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。			
17	ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・FITボルトによる遅れ破壊の懸念がある。				
18	破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。			
19	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。			
20	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。			
21	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。				
22	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。			
23	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。			
24	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。			
25	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。				
26	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。			
27	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	3-床版03	18	
28	漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		3-床版04.3-床版01	19,20	
29	抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	3-床版02	21	
30	床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	〔漏水・遊離石灰が無い場合〕 〔方向〕一方向〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以下 〔方向〕格子状〔間隔〕0.5~0.2m,〔幅〕0.2mm以下 〔方向〕一方向または格子状〔間隔〕間わない,〔幅〕0.2mm以下	〔漏水・遊離石灰が無い場合〕部分的な角落ち有 〔方向〕一方向〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以上 〔方向〕格子状〔間隔〕0.2mm以下 〔幅〕0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している。または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	3-床版04	22	
31	定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。			

健全性の診断	径間番号	3
--------	------	---

フリガナ	ナナセクダリランプキョウ	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
橋梁名	4033 七瀬下りランプ橋	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先		経度	138° 21' 02"				

損傷図作成用メモ用紙

路面

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
		上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			-
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			-		
	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	3-床版04,3-床版01 写真19,20,22	-		
	下部構造	Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋台02 写真23,24,25	-		
	支承部	Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害	3-支承部0302 写真30	-		
	その他	Ⅲ	Ⅲ	腐食、変形・欠損など	3-高欄02 写真5,6	-		

健全性の診断	径間番号	3
--------	------	---

フリガナ	ナナセクダリランブキョウ	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
橋梁名	4033 七瀬下りランブ橋	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先		経度	138° 21' 02"				

桁下

至 志賀 (P2)

(A2) 至 中野

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (I ~ IV)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
健全性の診断	上部構造	主桁	I	I		-		
		横桁	I	I		-		
		床版	II	II	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	3-床版04,3-床版01 写真19,20,22	-	
	下部構造	II	II	ひびわれ	3-橋台02 写真23,24,25	-		
	支承部	II	II	支承部の機能障害	3-支承部0302 写真30	-		
その他	III	III	腐食、変形・欠損など	3-高欄02 写真5.6	-			

健全性の診断	径間番号	3
--------	------	---

フリガナ	ナナセクダリランプキョウ	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4033.0
橋梁名	4033 七瀬下りランプ橋	起点側	緯度	36° 45' 12"		13 中野	点検年月日	20200917
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先		経度	138° 21' 02"				

損傷図作成用メモ用紙

P2橋脚 (A2側)
A2橋台

橋台02 ひびわれ II
写真番号-23 (W=0.30mm L=2300mm)

橋台02 ひびわれ II
写真番号-24, 25 (W=0.30mm L=1500mm)

A2橋台

W=0.10mm
W=0.20mm
W=0.20mm

その他 橋台02 漏水跡・表面劣化 I
写真番号-34

P2橋脚 (A2側)

支承部0302 支承の機能障害 II
写真番号-30 (腐食)

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名	点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (I ~ IV)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
健全性の診断	上部構造	主桁	I	I		-		
		横桁	I	I		-		
		床版	II	II	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	3-床版04,3-床版01 写真19,20,22	-	
	下部構造	II	II	ひびわれ	3-橋台02 写真23,24,25	-		
	支承部	II	II	支承部の機能障害	3-支承部0302 写真30	-		
その他	III	III	腐食、変形・欠損など	3-高欄02 写真5,6	-			